

福島第一原子力発電所 FタンクエリアH4フランジタンク フランジ接合部からの水の漏えいについて

＜ 参 考 資 料 ＞
2021年5月7日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

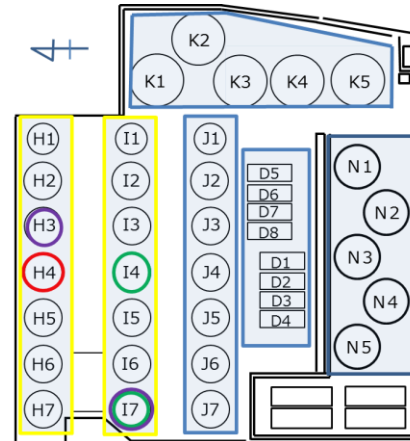
【概要】

- 本日（5月7日）午前10時39分頃、FタンクエリアH4タンク本体のフランジ接合部から、3秒に1滴程度の水が滴下していることを他の作業を行っていた当社社員が発見しました。
- 滴下した水はタンク内に貯留している5.6号機滞留水であり、滴下範囲は約1.3m×約0.15m×深さ約1mmです。
- 滴下した水はFタンクエリアの堰内に留まっていること、および敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。
- また、漏えいした水が拡大するのを防止するため、同日午前11時20分頃、現地に水受けを設置して滴下する水を集水するとともに、養生を実施しております。
- なお、当該漏えい水については、直近（2021年3月12日）に採取したタンク内包水の分析結果から、セシウム-134： 2.08×10^0 Bq/L、セシウム-137： 5.33×10^1 Bq/L、全ベータ： 1.73×10^3 Bq/Lであることを確認しております。
- 今後、フランジ接合部から水が漏えいした原因を調査するとともに、応急的な対策として止水材にて漏えい箇所を補修してまいります。また、準備が整い次第、タンクの内包水をエリア内他タンクへ移送してまいります。



【Fタンクエリア位置図】

- : 本日漏えいが確認されたタンク
- : 4月25日に漏えいが確認されたタンク
- : 2月13日の地震により漏えいが確認されたタンク
- : 当面の間運用休止



【F 1 エリアタンク】



【H4タンク漏えい箇所】